

研究課題名『病理組織標本作製過程での組織収縮が及ぼす影響の検討』に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年4月から2017年12月までに名古屋大学医学部附属病院で病理解剖された方。
具体的には患者さんの皮膚・肺・舌・肝臓・腎臓・臍帯組織を対象とします。

2. 研究目的・方法

[研究目的]

がんの進行度や病期を決定する上で、がんの大きさが重要な指標の一つとなり、予後の予測の手助けとなることがわかっています。このがんの大きさの計測は病理診断をする際に、主にホルマリンで固定された後の組織行われます。しかし、時として大きさの測定は、薄切・染色を行った最終段階であるヘマトキシリン・エオジン標本を用いて行われる場合もあります。しかし、がんを固定した後・脱水・伸展が実際の大きさ・距離にどれほどの影響を与えているのか、特に脱水から伸展にかけての影響に着目して検討した報告は少ないです。そこで私たちは様々な組織やがんの組織を用いて、固定した後・脱水・伸展が実際の大きさ・距離にどれほどの影響を与えているのか検討を行います。これは、患者がより正確にがんの大きさの診断を受け、正しい病期を知った上で治療を受けられることを目的にこの研究を行います。

[研究期間]

実施承認日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

[情報]

病理検体番号、解剖番号、病理組織診断名、年齢 等

[試料]

病理材料（対象臓器名：皮膚・肺・舌・肝臓・腎臓・臍帯組織（ホルマリン固定組織及びパラフィン包埋ブロック）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻

川井久美(研究責任者)

住所：名古屋市東区大幸南1丁目1番20号

電話番号：052-719-1189